

自糸財産区だより

自家財産区だより

第 32 号

令和3年1月1日

発行 白糸財産区

印刷 北洋印刷(株)

年頭によせて

富士宮市白糸財産区管理者
富士宮市長 須藤秀忠

あります

ます。

現白糸会館につきましては、新会館の供用開始後に取り壊し、駐車場として整備いたします。その間、来館館となりますが、よろしくお願いいたします。



新年あけまして
おめでとうござい

区民の皆様には、日頃から白糸財産区の管理運営はもとより、市政運営につきまして多大なる御理解・御協力を賜り、心より感謝申し上げます。

有ります。また、白糸財産区有林は森林経営の手本となる森林認証取得の区有林であり生産される木材は高品質で付加価値の高い優良材として、市場において高評価を受けております。これもひとえに、財産区議会議員の皆様をはじめ、区民の皆様の御協力の賜物と深く敬意と感謝を申し上げます。

市といたしましても、この財産区有林を末永く後世に引き継いでいくよう最大限の努力をしてまいります。皆様におかれましても引き続き御支援・御協力を賜りますようお願い申し上げ

さて、現在皆様に御利用いただいております白糸会館でございますが、昭和四十三年十二月に建設され約五十一年が経過しております。耐震等の問題もあります。建て替えが必要となりましたことから、地元との調整を図り、昨年の七月二十二日に建設工事に着手いたしました。本年四月一日の供用開始に向け、現在建設中であります。新設の白糸会館は、白糸の滝の水が流れ落ちる姿をイメージした白糸地区に相応しい建物となります。多くの皆様に御利用いただき、愛される会

者用駐車スペースが少なく御不便をおかけいたしますが、皆様には、御理解と御協力をお願い申し上げます。

なお、ご利用の際には、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、マスクや手洗いの徹底、密閉・密集・密接のいわゆる「三密」を避けた行動など、適切な予防を行い、自分自身と周りの人を守ることを切にお願いいたします。

結びに、白糸地区の益々の御発展を心より祈念するとともに、皆様方の御健勝と御多幸をお祈り申し上げ、新年の御挨拶といたします。



第18期(後期)白糸財産区議会議員の皆さん



白糸会館完成イメージパース

新年あけまして
おめでとうございます。

議員となつて七年、昨年
九月の議会で議長に選任さ
れました。引き続き広範開

な区有林のパトロールや間伐体験・広葉樹の植樹体験に加え、財産区運営の収支、林業管理の流れを同僚議員と一緒に経験していくます。

す。そんな中、需要面では唯一、バイオマス発電燃料用のチップ向けが底堅く価格も横ばい気味と単純には喜べない情報もあります。

しかし、火山灰土壌で生育が遅く、そのぶん木目が細かく強度に優れていると評価を受ける「富士ヒノキ」がブランド材として人気も広がりつつあるようです。地元の「天子のヒノキ」も息の長い愛好者があり下支えされ続けています。

関係者が販路拡大に力を入れる背景には、富士山禁の環境保全の重要性があり、世界遺産に登録されている地元としても豊かな自然を管理・保全し続ける必要があります。

別の観点で、森林の成長を促すため、一部の不要な樹木を伐採する「保育間伐」の収支が合わず、経費が上回ることが多く、切った木をそのままにしておく「放置型」と、運び出して木材として販売する「活用型」の判断も森林経営の知恵になっているようです。

「木にはぬくもりがある」という効果が認め

られながらも、林業は関心が低い傾向にあります。が今後、林業を活性化していくためには、木材の付加価値向上・需要拡大に産学官で取り組んでほしいと思います。作業現場の機械化と効率化、ドローン活用・林道整備も課題です。

昨今話題となつていて、「ナラ枯れ」、赤色被害の庄がりがヒノキや杉に悪影響を与えないよう何か良い対策が出るでしょうか。

富士宮市も市議会も隣の富士市もSDGs（持続可能な開発目標）の取り組みを進めています。その一環として木材の活用は重要な

テーマのひとつです。防災CO₂削減効果・生態系維持・水資源保全・地域景観などが考えられます。

効率的な間伐や伐採による良質な木材の生産、治山治水や環境に配慮した樹木の育成、森林浴の活用、森林環境譲与税の有効活用にも引き続き興味を持つて勉強していくます。

白糸会館工事も四月一日オープンに向け順調に進んでいるようです。

今年も次代につなげる財産区となるよう務めますので引き続いでのご支援を下さいします。

新春を迎え

白糸区民の皆様、新年あけまして
より

各区長様をはじめとする
区民の皆様方の日頃のご協
力に対しまして感謝とお礼
を心から申し上げます。

議員になりまして今年で
三年が経過するところであ
りますが、昨年の九月定例
議会におきまして、第二十
六代の白糸財産区議会副議

おめでとうございます。
まして

さて、木材は新型工口力
禍の不安のなか全国的に安
価が続き木材の高騰が望め
ない状況にあり、財源確保
に苦慮していることが実情
であります。なかなか元を

先人への想いを 寄せて

新年明けましておめでとうございます。

日頃より区民の皆様には、
白糸財産区の管理運営にご
理解とご協力を頂きありが
とうございます。

昨年は、新型コロナウイルスの世界的な蔓延で日々の生活も制約されてしまいました。私たち、財産区議員も会議ではマスク着用、検温するなどして感染防止対策に努めています。また、七月には九州北部を中心に豪

も会議ではマスク着用、検温するなどして感染防止対策に努めています。また七月には九州北部を中心に豪雨となり、河川が氾濫し大勢の尊い命が奪われました。ここ白糸でも、七月には長雨、八月には猛暑と異常気象が続き、体調を崩された方もおられたと思います。

白糸小学校の図書室に、「しらいと財産区(二十五年

には、村民総出で勤労奉仕をして、白糸財産区は、昭和三十年の富士宮市との合併の際、白糸村の村有林を母体として発足しました。これまで財産区から白糸地区の公共施設の建設や整備の費用として市へ繰出され、区有林は白糸地区発展のためをしていました。改めて先人達の苦労が忍ばれます。

白糸財産区有林の
間伐事業

新年を迎えてどうぞ
ざいます。
本年もよろしくお願いい
たします。

には欠かせないものとなつてゐます。

先人から受け継いできち
大切な財産区有林を皆様と
共に守り続けていきたいと
思ひます。

市場の流通にかけ、国・県の補助金で財源確保をしてい る状況であります。

なお、撫育管理としては 苗木を植えて、下草刈・枝打 ち・間伐と長い期間をかけて撫育管理していくしかねわ ばならないところにあります。

取るのが難しい時代となつております。
しかしながら、市場では白糸の名木であります富士ヒノキは高品質でかなりのウェイトを占めるまでになつてきます。

す。そのため伐期にきても必要経費がかさんで、皆伐がなかなか出来ないところにあります。

現在の事業としては、伐や静岡県で行っていた伐の立木売上げ等で運営費を捻出しております。いずれにいたしましても、先代の皆様方から受け継いだこの山林を守り育てて、後生に受け継いでいただけよう努力していきます。



自然小に上る椎茸のほど本伐採体験



白糸財産区議会議員による 草刈り奉仕作業(大助地主)



令和2年度SGEC森林管理
認証定期審査(現地)



内野分岐林間伐状況



歷代白乡財產區議長·所長



財産区の予算・決算					
歳 入		単位(千円)	歳 出		単位(千円)
区分	令和2年度 当初予算額	令和元年度 決 算 額	区分	令和2年度 当初予算額	令和元年度 決 算 額
県支出金	6,450	5,496	議会費	3,694	3,526
財産収入	22,372	17,858	総務費	36,342	20,395
繰入金	1	0	積立金	1	0
繰越金	13,134	14,299	公債費	1	0
諸収入	2	151	諸支出金	1,500	0
合計	41,959	37,804	予備費	421	0
			合計	41,959	23,921

令和元年度決算の構成比

項目	割合
諸収入	0.4%
繰越金	37.8%
県支出金	14.5%
財産収入	47.2%

項目	割合
議会費	14.7%
総務費	85.3%

財産区の基金の状況

令和2年3月31日現在 150,079千円